

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年8月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300282
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム だんだん
所在地	鹿児島県鹿屋市西大手町11番11号 (電話) 0994 - 36 - 8678
自己評価作成日	令和元年7月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年7月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

この施設は、市街地の商業地と住宅地が混在する街中に立地している。そういった地の利を生かした取り組みを行うため、町内会に加盟し、地域との関わりを多く持つ機会を持つよう努めている。また、施設近隣でのイベントにも参加し、御利用者様も楽しまれている様子が伺えた。散歩がてらの近隣の店舗での買い物の付き添いや施設近隣の散歩など、まだ実施回数は少ないが、地の利を生かした支援をしていく予定である。その他、季節感を味わってもらえるように、季節に見合った壁飾りの製作やドライブなどを行ったり、洗濯物たたみやおかずの盛り付けといった、これまでと変わらない作業を行ってもらうことによって、心身の機能が維持できるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、大型スーパーマーケットやバスセンターが近く、公園や住宅地に囲まれ、静かで利便性の良い場所に立地している。昨年6月に開設し、母体法人は有料老人ホームを中心にデイサービスやグループホームを県内数ヶ所で運営しており、必要に応じて職員の異動や補充を行う等、法人内の協力体制も築かれている。
- ・町内会に加入し、水神祭等の地域行事や市民交流センターのイベントに参加したり、隣接の学童保育所とは来訪や合同イベントを実施する等、地域との交流に積極的に取り組んでいる。
- ・調理担当職員の配置や夜勤専門職員とラインで情報共有を行う等、職員の負担軽減を図ると共にケアへの集中及び職員間の連携をスムーズに行えるよう取り組んでいる。
- ・職員の資格取得や研修受講の助成を行う等、職員の資質向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り後に理念の唱和を行っている。この理念を実践できるよう、適宜職員同士でアイデアを出し合っている。	事業所独自の理念を作成し、重要事項説明書に記載、事務室及びホールに掲示している。毎朝申し送り後に唱和し確認している。毎月の部署会議時にケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加盟し、町内の情報を得るようにしている。日常的とは言い難いが、町内の散歩やイベントに参加するよう努めている。	町内会に加入し、水神祭やサロン等の地域行事や地域のイベントに参加している。学童保育児の来訪や法人合同イベントの実施で地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所が出来て1年足らずで、地域がこの事業所のことを認識されてない様子である。地域貢献が出来る機会を持つよう努めたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々から、イベントなどの情報提供があり、情報を生かして行動したいが、あまり行動できていない状況である。	2ヶ月に1回運営推進会議を実施し、事業所の状況報告等を行い意見交換をしている。地域のボランティアの参加もあり、地域の情報を得る機会となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	困難事例について、地域包括支援センターの協力を得て対応した。より良いサービス提供を行うため、市町村との連携をもっと取れるようにしたい。	市や地域包括支援センターからは開設当時から情報を貰っている。市の担当者とは運営推進会議時の意見交換や出向いての報告等で連携を図り、生活保護担当者とも同様に協力関係を築いている。市の研修会に可能な限り参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修等での学びを通して、身体拘束とはどういうものかを理解した上での環境設定を行っている。また、3カ月に1回の割合で、グループホーム内で身体拘束しないケアの実践のための取り組みの検討を行っている。	指針があり、委員会を3ヶ月に1回、研修会を年1回実施している。特に不適切な言葉遣いは、気付いた時に注意を促している。玄関の施錠はせず、帰宅願望のある利用者には、見守りや一緒に散歩等を行なうことで制限のない生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等での学びを通して、虐待となってしまうような行為を取らないよう努めている。また、職員用トイレに虐待についてのカードを張り、常に気をつけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員個々で学んでいる職員もいるのであろうが、施設内ではこれまで学んではいなかった。今後は機会を得て、学べるようにしたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に十分な説明を行い、後日質問を受けても回答できるように構えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>御利用者様や御利用者様家族の意見や要望を気軽に表出できるよう努めている。可能な範囲で応えていくようにしている。</p>	<p>利用者には日常の会話で意見等を聞き、家族には運営推進会議や面会時に要望等を聞いている。昨年は有料老人ホームと合同で敬老会を行ったが、今年度は敬老会を兼ねて家族会を独自に行う予定である。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>適宜、職員の意見などを聞いてもらえる機会を得ている。</p>	<p>毎月1回ずつ、部署会議と鹿屋事業所の全体職員会議を実施している。記録の簡素化や各シフトでの負担軽減等についての意見が出され、業務改善に反映させている。個別相談は随時、管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員からの意見などから、働きやすい職場環境を整備するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種研修の受講を勧めて、各職員の介護技術や知識のが向上するよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との関わりは、多忙などもあり行えていない。開設されて1年位といこともあり、まだ周知されていないこともあるため、交流の機会が多く持てるように努めたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人が安心できる声掛けを行い、職員間で情報を共有し、関係性作りに生かしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>よく面会にいらっしゃる家族とは、日常の様子を伝える等のコミュニケーションを計り、ケアについても話ができる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状態確認を行った上で、まずここに入居することが適切であるのかから検討している。しかし、他のサービス利用の提案までは出来ていなかった。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は日常的に入居者様とコミュニケーションをとっており、ご利用者様からは、職員の家事的な作業の手伝いをもらうなど1日を通して共に活動を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族面会時は居室で話してもらおう等、家族の時間を過ごしてもらっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	グループホーム周辺のイベント等がある時は、ご利用者様も参加できるよう努めている。一部だがドライブの際には、自宅の近くを通ったりしている。	家族や友人の面会時には居室でゆっくりしてもらっている。近隣に住んでいた利用者が多く、家族と墓参りや理美容院、医療機関受診、食事等で外出したり、職員同行で行きつけの店で買い物する等、これまでの生活や関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性などを考えて、ホールでの席を決めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、御家族から連絡があった場合にはそれに答えて支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の発言や様子から、思いや意向を把握して、今後の支援などを検討している。	居室でのケア時にゆっくり話を聞いたり、入浴や夜間帯、外出時に本人の意向を聞いている。得た情報は、朝礼や昼食後の意見交換時に職員間での共有化を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	暮らしぶりは把握していたが、これからの暮らしの方に強く頭が向いていた。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状況の観察、職員からの報告から、本人の状態についての把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の話や状態、家族や職員からの情報をもとに計画を作成していた。「チームで作る」ということにはなっていないため、今後はそういったプラン作りを行っていきたい。	電話や面会時に把握した家族の希望等を基に、ミーティングで職員の意見を聞いて話し合い介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回実施し、見直しは6ヶ月毎及び状況変化等の必要時に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や食事・水分摂取量、排泄チェック、バイタルサインのチェックの記録を行い、今後の介護に実践に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	制度や人員の他、諸々の状態が許される範囲の中で支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	主治医の指示や家族の同意にて、訪問マッサージ利用あり。また、医療連携にて訪問看護の介入あり。町内会にも加入している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族が遠方にいらっしゃったり、多忙である場合には、訪問診療や職員付き添いで外来受診で対応している。家族が付添が可能な場合にはお願いしている。	契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医を確認し、受診は基本的に家族対応としている。協力医療機関の訪問介護が週1回あり、緊急時は24時間対応の体制が整っており、適切な医療が受けられるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日バイタルサインをチェックし、変化や異常値の有無を観察、食事摂取量や摂取状況、体重の増減の観察、入浴時皮膚の観察を行っている。訪問看護師に相談し、主治医の診療を受けるようにしている。必要であれば、専門医の受診も受ける。定期受診の際、日頃の情報を家族に伝え、報告していただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>過去に4名入院された。家族への説明、入院先へのサマリー提出、連絡調整など行う。また、退院されこの施設に入居となった際には、その病院から情報提供をしていただき、今後の支援に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>このグループホームでの取り決めがまだなされていない。早々に取り決めていく。</p>	<p>契約時に病状悪化や重度化等の場合は入院対応になることを口頭で説明している。今後、重度化や終末期に向けた方針やホームができる支援について明文化していく計画である。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホーム方針の明文化が望まれる。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当の方法やAED使用法について研修を受けている。救急箱の設置、吸引器の準備をして緊急時の手当法を日頃より話し合っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練は年2回の取り組みとなっている。防火管理者は2名在籍。町内の消防団長にも協力を願う予定となっている。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、消防署の立ち会いは1回ある。昨年は消防団の協力で実施し地域にも周知してもらった。今年はその反省点も考慮して地域に声かけして取り組む計画である。備蓄は水、米、缶詰、レトルト食品等を準備、カセットコンロもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドを傷つけないようにして気を付けて言葉かけをしている。	研修は全体会議で行っている。言葉や行動にも人格を尊重した言葉かけを行い、基本はさん付けで呼んでいる。排泄や入浴介助時は羞恥心に配慮している。職員の引き継ぎは事務室で行い、プライバシーを確保している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の対話の中で思っておられる事をけいちょうし、衣服選びなどアドバイスしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションへの参加など拒否された場合には、興味のあることを引き出し対処している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪や衣服の乱れ、髭剃り等声掛けをしている。また、上手く出来ない方は、始めは自分で行ってもらい、最後に職員で対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	どんなものが食べたいか対話の中で聞き、簡単な盛り付けやトレイ拭きなど手伝っていただいている。	有料老人ホームの献立を参考に、調理担当職員が献立の希望を聞いたり頂き物を調理し、柔軟に対応している。利用者も盛り付け等を行っている。誕生会のケーキや季節の行事食、地域のサロンでの食事会等、食事が楽しみになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主食や水分量の計量を行い、声掛けにて確実に摂取していただいている。また、体重増減を確認しながら、その方にとってベスト体重を維持出来る様に食事量を調整し、主治医からの情報を頂きながら、水分量の管理も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアと就寝時の義歯の管理を確実にしている。使用される歯ブラシやコップ等も定期的に消毒を行っている。3ヶ月に一回、口腔衛生士の確認もして頂き、ケアのアドバイスももらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間ごとにトイレ誘導の声掛けをし、トイレでの排泄を促している。排泄の失敗があまりなくなってきた方は、その時の状態に合わせてオムツ等の変更も行っている。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、個々に応じて見守りや声かけ誘導等をしている。日中はトイレでの排泄を基本に見守りを行い、失敗の減少や排泄の自立に繋がった利用者もいる。必要に応じ夜間のポータブルトイレを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物を消化しやすいように工夫したり水分摂取や運動を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	他の支援の都合もあり、利用者様に了解を得た上で、時間を設定していることがある。それでも、個々の状況に応じた入浴介助を行っている。	週3回を原則に午前中に実施しているが毎日入浴できるように準備している。特別浴室やトイレの設備があり、重度化の場合も対応できるように脱衣室も広い。入浴を嫌がる場合は、タイミングをみての声かけで対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室でゆっくり静養できる時間をとれるようにしている。安眠できるような環境に整えて休んでもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を確認し、1日分の薬ケースにセットし、本人に見合った服薬解除を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクレーションやドライブ、季節行事の実施、系列施設の行事の参加などを行っている。また、洗濯物置やおかずの盛り付けなどの役割を持ってもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望を伺った上で戸外に出かけている。散歩がてらに職員の買い物付き添いも行ってもらっている。家族の希望で外出ということもある。	日常的に車椅子利用者も周辺を散歩している。年間計画を立て、初詣や季節の花見、ミカン狩り、地域の水神祭や月見会、有料老人ホームのイベントに出かけたり、個別に利用者の希望で買い物やドライブで外出している。家族と墓参りや外食等で出かける利用者もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	後々、無くなったなどトラブルの元となるため、ご家族にもお願いしてお金の所持は遠慮してもらっている。支払いに関しては、こちらで立替い払いをして、後日家族からいただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人や家族の希望に応じて、取次するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>窓からの日光がまぶしいとの利用者からの訴えから、光が和らぐようなシートをも窓に貼って対応した。また、生活感や季節感を感じられるような飾りつけを行ったり、不快感の内容に適宜に取り組んでいる。</p>	<p>リビングは吹き抜けで開放感があり、天窓をシートで遮光する等、居心地良く過ごせるように配慮している。手作り作品の壁飾りや菜園の野菜、果樹の収穫を一緒に行う等で季節感を感じられるようにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同空間での居場所は、決まった場所から動くことはない。様子観察や利用者からの訴えから、居心地の良いように環境設定してる。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族にも協力ももらいながら、また、本人のし好などを考えながら、居室でも居心地良く過ごせるよう努めている。</p>	<p>ベッド、洗面台、エアコン、押し入れは備え付けである。使い慣れた寝具や家具、テレビ等を持ち込んだり、手作りの作品や家族の写真等を飾って、本人が落ち着いて過ごせる部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人の「出来ること」や「分かること」の把握に努め、現状の力で自立した動作ができるような環境設定や介護を行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない